IC3通信
第30号(FAX版)
発行日：2008年2月5日
株式会社アイ・シー・キューブ
http://www.ic3.co.jp/

～ Yahoo！JAPANリニューアルの戦略とは ～

ユーザーの使い勝手が向上した新トップページ

2008年1月1日、Yahoo！JAPAN（以下、Yahoo！）はトップページの全面的なリニューアルを行いました。Yahoo！は本当に使いやすくなったのか、そしてトップページだけではなく、様々な部分で機能の拡張を進めつつあるYahoo！のこれからの戦略について紹介します。まずデザインの変更によって新しいトップページはそれまで2列組だったページ構成が3列組に変わっていますが、ウインドウサイズが710ピクセルから950ピクセルへ拡大されたため、窮屈さは感じられません。そして、今まで検索窓のすぐ下にあったサービス一覧が、左側に縦一列表示に変わり、以前に比べ、煩雑な感じがなくなり、すっきりと見やすいデザインになっています。

また、今まではトピックスとしてジャンルに関係なく、Yahoo！ニュースの新着情報がページの右側に表示されていましたが、新しいトップページでは、「トピックス」、「経済」、「エンタメ」、「スポーツ」、「その他」とジャンル分けがされ、場所も最初に目に入る中央上段に表示されるようになっています。人気の高いYahoo！ニュースを一番目立つ部分に移動し、総体的にもすっきりと見やすいデザインに変更されたYahoo！ですが、通常、Yahoo！程のページビューのあるサイトがデザインを大きく変更すると、「以前の方が良かった」などの批判的な意見が出る場合もあります。しかしブログやSNS、IT系のニュースサイトなどを見てもそれほど批判的な意見は見受けられないことからも、今回のリニューアルは多くのユーザーに好意的に受け入れられているようです。

トップページから消えたカテゴリ検索

さて、デザイン面で大きく変わったYahoo！ですが、それ以上に大きなポイントはトップページからカテゴリ検索が消えてしまったことでしょう。これはロボット検索の精度の向上やサイト数の増加、そして情報の多様化により、カテゴリでは処理しきれなくなってしまった上、目的の情報にたどり着くまでに何回もクリックが必要になるというのも次第に利用者が減ってしまった要因といえます。もちろん、カテゴリ検索がまったくなくなってしまったという訳ではなく、現在でも新しいトップページの右上にある「カテゴリ一覧」をクリックすれば、カテゴリ検索は可能ですし、カテゴリ登録されているサイトが検索結果の上位にくるという構造も大きくは変わってはいません。ただ、ユーザーの検索方法としてのカテゴリ検索の役目は既に終わってしまったということになるのでしょう。現在、国内外の主要な検索エンジンでトップページにカテゴリ検索を表示しているのは、インフォシークのみとなっていることからもそれが伺えます。

また、今月よりYahoo！が運営するSNS、「Yahoo！Days」が招待制を廃止し、Yahoo！IDを持っていれば誰でも参加できる登録制に変更になりました。MySpace、Face bookなど海外のSNSでは今や登録制のSNSが主流となっています。日本ではSNSの最大手、mixiが招待制をとっているため、SNSといえば招待制というイメージが強くなっています。しかし最近ではgoo ホームや楽天リンクスなど、大手サイトのSNSが最初から登録制であるため徐々にそのイメージも変わり始めているようです。

1月16日、ネットレイティングスは、ネット視聴率サービス「Net View」において、昨年11月にGoogleが初めて楽天を抜き、Yahoo！に次いで2位になったと発表、そして24日にはauに続きもドコモがGoogleとの提携を発表しました。国内において今まで盤石であったYahoo！ですが、検索のみならず、YouTubeや携帯事業などさまざまな部分で知名度を広げるGoogleの追い上げを受け、今後は今まで以上に熾烈な争いが展開するでしょう。マイクロソフトからの買収提案も併せ今後の動向が注目されます。(^o^)／

アイ・シー・キューブでは、企業の競争力を高め、その成長と繁栄を支援する為の情報を提供する中小企業向けのセミナー及びイベントを多数主催しています。是非ご参加頂きビジネスにお役立て下さい。

株式会社アイ・シー・キューブ
水戸市南町3-3-43小林ビル5F
Tel：029-228-0116
Fax：029-233-0882
URL：http://www.ic3.co.jp/
Mail：info@ic3.co.jp

FAX版IC3通信を停止されたい方は、お手数ですがこの原稿を、
FAX：029-233-0882
までFAXしてください。
（　　）
のFAXを停止してください。